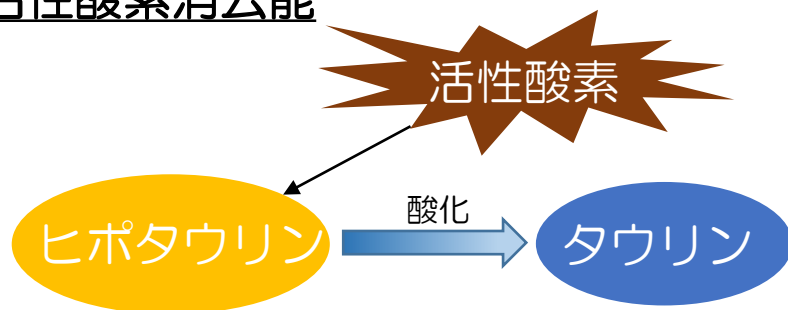


ヒポタウリン

ヒポタウリンは哺乳動物において、**含硫アミノ酸**の代謝生成過程に存在する物質で、肝臓、血清、筋肉、皮膚中に存在している**生体内物質**です。哺乳類の他、深海生物「チューブワーム」等の組織中にも存在しており、哺乳動物から下等動物まで広く存在し、動物に本来備わっている**抗酸化作用**の中心を担っている物質です。

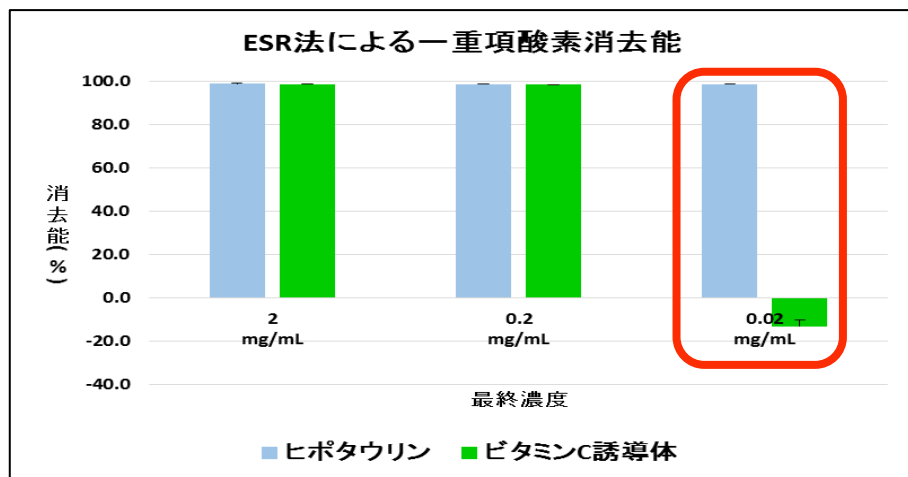
活性酸素消去能



ヒポタウリンは活性酸素と反応して**自らが酸化**する事で活性酸素から肌を守ります。酸化後も化粧品原料のタウリンに変化するため、非常に**安全**です。

ヒポタウリンは**少量**で一重項酸素を有意に消去します。

他の水溶性抗酸化原料では効果が認められなかった
0.02mg/mlという**少量添加**時でも高い消去能を示します。



ヒポタウリンの特徴

(チオタウリンとの比較)

水溶性で**ハンドリングが容易**。

ハンドリング性：ヒポタウリン>チオタウリン

ヒポタウリンは**生体内に存在**。

チオタウリンは自然界には存在するが、哺乳類の生体内物質ではない

□部外品使用 可能

□INCI名：AMINOETHANESULFINIC ACID

□化粧品表示名称：アミノエタンスルフィン酸



相互薬工株式会社

Sogo Pharmaceutical Co., Ltd.